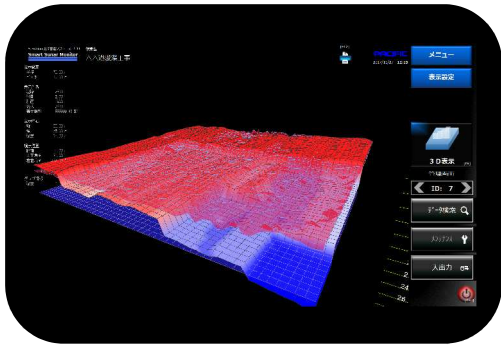


Smart Sonar Monitor (スマートソナーモニター) Ver1.11



Smart Sonar Monitor(以下「SSM」)は、超音波測深装置「SV-1000」に対応した測深管理ソフトです。

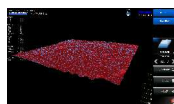
多種多様な使用方法に対応するため、測深領域の制限をなくし、より広域での測深が可能となりました。

また、タッチパネルでの操作に完全対応しており、簡易的な操作で全ての機能を使用することができます。

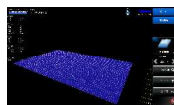
事前測量データや計画データの重ね合わせ表示ができるため、施工をリアルタイムに確認し、作業の効率化や施工精度の向上が期待できます。

【表示機能】パワーアップしたグラフィカルで多彩な表現

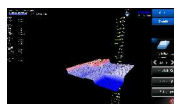
SSMは、事前測量データ(加-ルル等)と、施工計画データを外部入力し、SV-1000の測深結果と合成して表示することが可能です。施工者や監督は、現状の海底深度をリアルタイムに確認できるため、施工精度の向上や手戻り作業の軽減による効率化が期待できます。



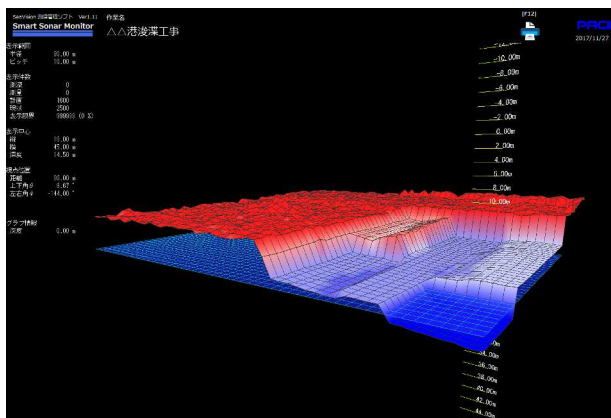
測量データ



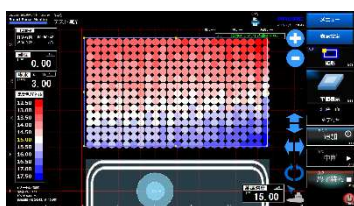
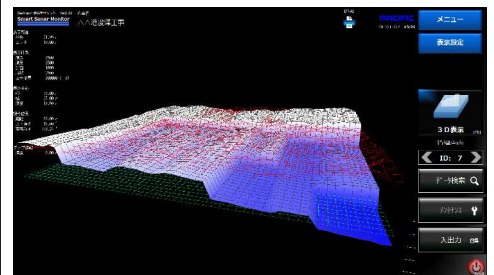
計画データ



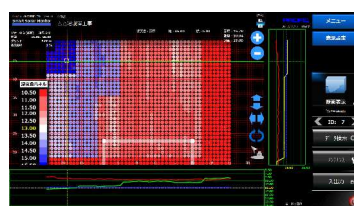
測深データ



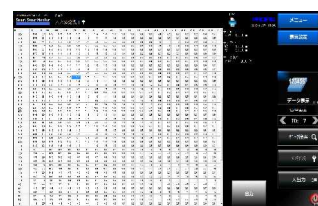
合成3次元データ (測量・計画・測深の合成)



平面表示



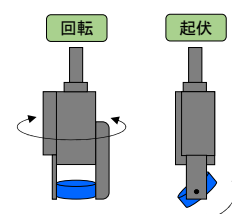
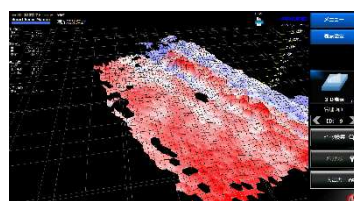
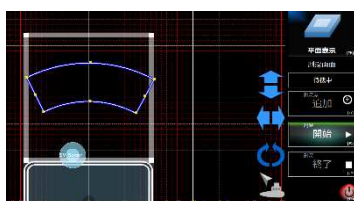
断面表示



データ(数値)表示

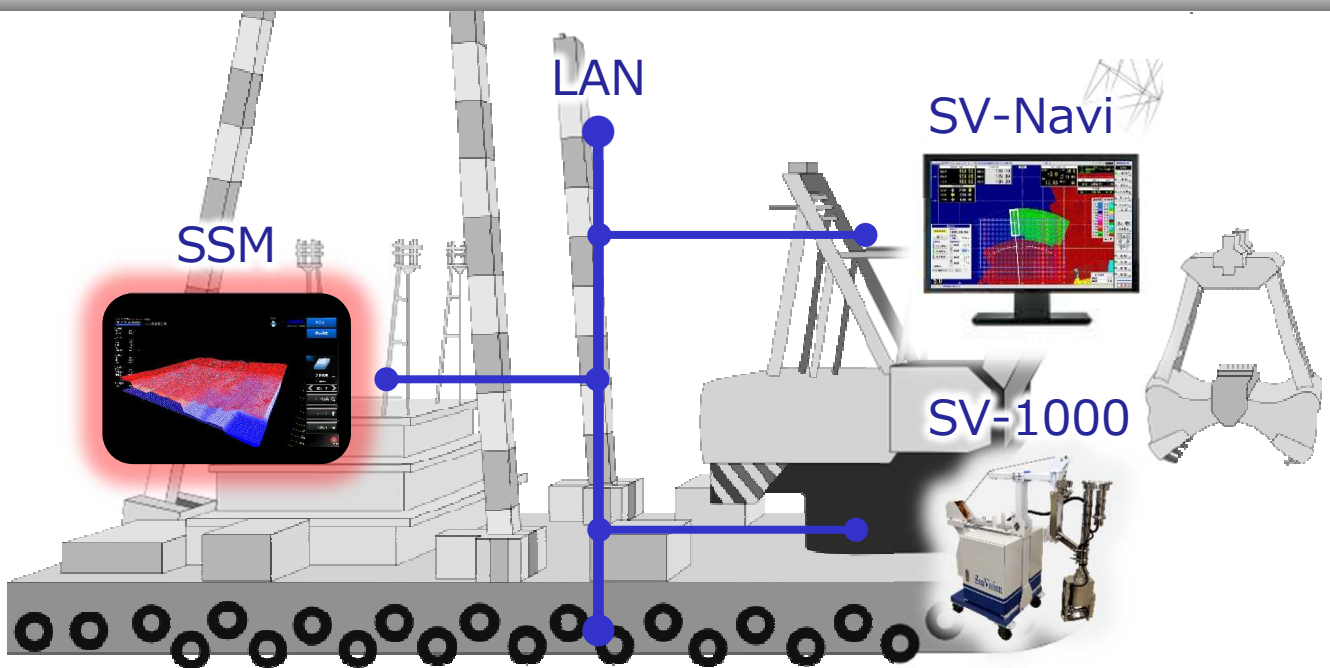
【測深モード】簡易な操作でインテリジェンスに動作

SSMは、画面上で測深エリアを指定し測深開始ボタンを押すだけで、システムが効率よく目標位置に超音波を発射します。濁りの状況や、船体のグラブ位置を考慮してインテリジェンスに動作します。また、船の揺れや測深中の船の位置ズレに対しても各センサー値から自動的に補正を行い、対象を正確に測深することができます。



Smart Sonar Monitor (スマートソナーモニター) Ver1.11

システム構成



- ・SV-Naviと接続することで、最も性能を発揮します。SV-Naviがない場合でも、GNSS機器からの位置情報や方位、潮位などを別途入力することで、多くの機能が有効となります。入力方法については、都度対応をいたします。
- ・SSMとSV-1000のみの構成でも使用することが可能です。その場合は、船体の指定位置からの相対座標による管理となります。

設置例

下記以外の設置方法については、別途お問い合わせください。

B型設置

H鋼を利用した簡易設置方式

船首にH鋼を溶接して昇降機を使用して超音波センサーを海中投入する方式で、最も安価な取付け方法です。

船首にステージを取付け汚濁防止カーテン内にセンサー投入することも可能です。



C型設置

船底設置方式

(※船底設置方式のための船体加工工事はドックでの工事がが必要です。)

甲板からセンサー投入口を船底まで通し、

超音波センサーを船底部より出し海底を測深します。

(超音波は汚濁防止柵カーテンを透過するので測深に影響はありません)



画像は、SV-501のソナーヘッドです。

PSD Pacific Software Development Co.,Ltd

〒780-0945 高知県高知市本宮町105-22

TEL 088-850-0501 FAX 088-850-0570

Sea Vision
UltraSonic Sounding System

パシフィックソフトウェア開発株式会社

営業部 システム営業課
「SV-Sonar」担当まで

TEL 088-850-0503 FAX 088-850-0573

E-Mail sales@pacificsoftware.co.jp

2018年05月